

特集「パッチアダムスさん来院」

小児外科 連 利博

5月に突然開業医の友人から電話が入った。「パッチアダムスが来神するのだけど、こども病院の訪問は可能ですか?」という問い合わせだ。聞けば神戸青年会議所が青少年の健全な育成を目的とした事業の一環で招待したらしい。

ロビン・ウイリアムズが好演し感動を呼んだあの映画の実在の人物、小児病院での「医療道化師」、クリニクラウンの元祖、理想の病院ゲズントハイトの創始者、そのパッチが来るのだ! 電話で話しながらも、映画の感動的なシーンが思い浮かぶ。パッチに直接確かめたいこともいくつかある。

自殺念慮を持って精神病院に入院した鬱病のアダムスは、同室のリスを怖がる患者さんとのふれあいから精神科患者に興味をもち医学部に入った。学生のときすでに小児病棟での子ども達とのふれあいからクラウニングを体験する。浣腸器についている赤い丸いゴムに切り込みをいれ、自分の鼻にくっつけて赤鼻にしたその呪嘆のアイデアには敬服した。パッチは患者への感情移入を薦めているが、実際に彼はどこに限度を置いているのか? 映画の中でガチガチの医学部の女学生カリンが分裂病の患者へ感情移入した結果患者に殺されるのは、あの優しさがいっぱいの映画の中で緊張を与え、この映画を現実的なものにしクラウニングというものが簡単ではない、精神科的なプロとしての知識がなくてはならないということを確認させてくれる。一度はショックでゲズントハイトを止めようとするが、カリンが蝶々に生まれ変わってパッチに強い意志を持ってやり遂げなさいと啓示する場面は単にロマ

ンチックな演出なのか?

8月26日、パッチが本当にやってきた。まず1時間ほどの談話会。勤務時間帯だったので外からの参加者が多い。患者家族、医学部・看護学部の学生、がんの子どもを守る会の親御さんたちで研修室A/Bはいっぱいになった。浣腸器の赤鼻はやはり呪嘆のアドリブだった。患者さんを前にすると、クラウンも医者と同様ですべて相手を観察しながらのアドリブの動きだそうだ。最後に聴衆の前で変身した。



Welcome
Patch

鳥の帽子に赤い鼻、乳首を首からぶら下げて、手にはゴムの魚、これほどナンセンスな格好は見たことがない。仲間たち8人が加わりにぎやかに病棟に向かった。

8月26日パッチが本当にやってきた

Welcome
Patch
Patch Adamsさん来院

病棟で繰りひろげられたクラウニングは圧巻だった。怖がっている子どもにはスーザンのアコーディオンに合わせて遠くからゆっくりと近寄って赤鼻と患児の鼻をくっつけたり、しらけている子どもには一度無視しておいて突然横に来たり、子ども達を看護師や医師と一緒に大きなパンツに入れて電車ごっこで廊下を走り回って、いつの間にか周りの人たちも巻き込んでいく。そのしぐさはダウン症の子ども達から学んだそうだ。予定時間が迫ってきたので私が焦ってクラウニングを期待している患児のところへと誘導しても、パッチはゆっくりと、ど近眼のまねをして廊下や窓にへばりつく様にして患児をさがす。その時、患児は左側にいたので私があせって、思わず「左を見て」と言ったら、彼はすかさず「私はこれまで長い間左を見てきたよ！」（自分は左翼、つまり民主党という意味か？）というジョークで返された。彼が

クラウンを演じているときは別の人格になっているように見えて危ないような感じを覚えていたが、そうではなくてかなり冷静にやっているのだ。パッチは実際に自由奔放で、事前の青年会議所の人たちとの打ち合わせはほとんど無視された。彼は自分のプライベートな部分を守る範囲でならどこまでも感情移入するし、実は子どもよりは大人をクラウニングするのが好きだと言う。なぜなら大人の方が子どもより複雑でより深く精神的に傷ついていることが多いからだそうだ。難病の子どもに付き添う親たちこそがクラウニングを必要としているように思っていた私は納得した。本当に楽しい一日だった。

クリニックは欧米の小児病院ではすでに日常的なものとなっているが、その役割と効果がよくわかった。今後、日本人のクリニックを育てることに一役を担い、それが闘病中の子ども達や親御さんの癒しになるのならこれほどの光栄はない。パッチがわれわれに残した宿題だ。





パッチさんからの贈り物

看護部次長 池尻 操子

こどもたちからは、

「またふうせんちょうだいね」
「きてくれてありがとう」
「はながおもしろかったです。またきてね」
「パッチ・アダムス先生 ひさしぶりに笑いました。
楽しかったです」
「きてくれてありがとうございました。とっても
おもしろい人がいっぱいいてびっくりしたけど
たのしかったです。これからもまたみんなのところへ行って大変だとおもうけどがんばってく
ださい。私もがんばります。」というお手紙を

またお母さんたちからも、

「最高のプレゼントありがとうございました。
一日も早くげんきになります。」
「親子共々なにか力をいただいたないように思います。」
というメッセージといっしょに色画用紙に、パッ
チさんの似顔絵やあの日の様子をいっぱい描いて
くれていました。

ほくは、最初パッチ・アダムスは急がしいので
来てくれないの思ってだけと来てくられたので
すごくうれしかった。パッチ・アダムスは、ピエロ
みたいなはでな服を着ていて部屋に来た時には
倒れて入ってきた。びっくりした。そして
ベッドの上にすわって頭をうけてくれたり
いろいろな事をしてくれた。
そして帰る時立つたら天井ぐらりまで背は
あってベットにすわっていた所すこないがえが
てきていた。そしてワインももらってきてこうれい
がた、楽しかったのでまた会いたいと思つた

大沢広平



これをある病棟の主任さんが、こどもたちとお母
さんが描いてくれたのでパッチさんに送りたいと画
用紙を数枚リボンで綴じたカードを届けてくれま
した。こども病院のこどもたちのメッセージを届ける
ために、英語の翻訳をつけ郵送する準備をしていま
す。

数ヶ月前から準備にあたり、8月26日本當にパッ
チさんたちが来てくださり、7階病棟・6階・4階・5
階で繰り広げられたクリニクラウンは、こどもたち
と支えるご家族に夢と勇気をいただけたことを嬉
く思います。

私が感動したクリニクラウンの場面は、個室に入院
中のこどもさんには、パッチさんがやさしくじっこ
と目を見つめ、あの大きな手でやさしく顔やから
だを包み込むようにかざしたり、指でやさしく髪を
なぜたり、そしてやさしく語りかけ、傍ではパッ
チさんのクラウンを届け届けとばかりスザンさん
の弾くアコーディオンのやさしい音色が、応援し
ているかのように……やがてこどもさんは目
を輝かせ、舌を動かし、身体を動かし……
パッチさんからの贈り物が届いたようで、胸が熱
くなりました。

パッチさんご一行様が、当院へお越しくださるよ
うご配慮いただきました神戸青年会議所の皆様に
感謝いたします。

最初は、たくさんの人數にこもれ、たまに立ってほ
しいだけ、途中から楽しくなって写真一緒にとったり、で
きました。次の日は、今度ピエロさんたら泣かないから
いつも見てくれると言つてもよかったです。

とても子供達には、しぐさがぶり楽しい1日になづの
こういう企画は、ふやしてあげてほしいです。



パッチさんムース

栄養指導課長 下浦 佳之

ホスピタルクラウンでこども病院を訪れたパッチ・アダムスさんをイメージしてデコレーションした手作りムースを入院患者様のおやつとして提供しました。いちごとココアの2層のムースになっており、牛乳の代わりに、最近話題の豆乳を使ってみました。豆乳を含む大豆食品には、イソフラボン、大豆たんぱく質、カルシウムが多く含まれているため、生活習慣病を防ぐことが期待されます。豆乳を飲んだことがない、嫌いだという子供達も多いようです。ご家族と一緒に作って頂ければと思いますのでレシピをご紹介致します。

【材料】

●ココア豆乳ムース	1人分(g)
ピュアココア	0.15
調整豆乳	15.0
上白糖	1.5
粉ゼラチン	0.4
冷水	1.3
●イチゴ豆乳ムース	
ストロベリーソース	17.0
調整豆乳	25.0
上白糖	2.5
生クリーム	8.3
粉ゼラチン	1.3
冷水・湯	各 4.2
◆デコレーション	
チエリー缶	(1粒) 6.0
ホイップクリーム	3.0
ソフトチョコ	1.0

【一人分の栄養量】

エネルギー	148.0kcal
蛋白質	3.0g
脂質	6.5g
炭水化物	19.0g
カルシウム	20.0mg
イソフラボン	14.0mg

【作り方】

1.ココア豆乳ムースを作る

- A/粉ゼラチンを冷水でふやかす。
B/Aとココア・豆乳・砂糖を鍋に移し、加熱する。
C/あら熱をとったBをグラスにいれ、冷蔵庫で冷やし固める。

2.いちご豆乳ムースを作る

- A/粉ゼラチンを冷水でふやかす。
B/Aに砂糖・湯・豆乳(80℃)を加えて、火にかけて溶かし、裏ごしする。
C/Bにストロベリーソースを加え、とろみが出るまで氷で冷やす。
D/Cに7分立てした生クリームを混ぜ合わせ、固まったココア豆乳ムースの上から流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

3.デコレーションする

- A/固まったムースの表面に、ソフトチョコで目と口を書く。
B/生クリームと砂糖を合わせて、ホイップクリームを作り、真ん中に軽くひとしぼりする。
C/種を除いたチエリーをホイップクリームの上に置き、鼻を作りパッチさんの完成。

【完成写真】



一緒に遊ぼう!!

保育士
中村 直子
(旧姓:植竹)

最近になり、やっと知名度が上がってきた「医療に携わる保育士」。病棟保育士として開院当初から正規の職員が配属されていたことを皆さんご存知ですか?現在は、循環器A病棟と血液主体病棟に2名ずつ配属されています。写真の前列左から中本(循環器B)、馬場(産休中のため現在は大北)、後列左から中村(血液)、坂東です。入院していても子どもには「遊び」が必要です。子どもは「遊び」を通して様々な情報を得たり、学んだり、癒されたりします。「遊び」ための人や物といった環境もとても大事です。私たち保育士は、子どもたちが安心して遊べる空間や環境を作り、設定保育の時間を設け、季節や発達に合わせた工作や集団遊びを行っています。「母の日」「父の日」「敬老の日」に合わせてプレゼントを作ったり、「芋ほり」「お化け屋敷」「クッキング」などのさまざまな体験をしたり、子どもだけでなくご家族も一緒に楽しめるよう心がけています。隔離や

クリーンカーテンに入るなどしてプレイルームに行くことができない子どもにも、設定保育や遊びができるように工夫しています。また、病棟における子どもの成長発達の援助や相談も行っています。入院している多くの子どもたちが参加できる行事「夏祭り」「クリスマス会」も行っています。先日行った夏祭りでは「オリンピック」をテーマに、子どもたちが選手となってさまざまなコーナーを楽しんで盛り上りました。「クリスマス会」もただいま楽しいものを企画中です。新年にも新しい行事を計画しています。ご協力をお願いすることもあると思いますが、よろしくお願ひします。

変身前 変身後



指導相談部門のご紹介

その1 「発達外来」

今回は、指導相談部門で行っている「発達外来」をご紹介させていただきます。

「発達外来」は毎月第一・第三水曜日の13時から、のじぎく療育センターの宅見晃子小児科部長をお迎えし、山崎武美副院長とともに診察を行っています。

どのようなお子さんが診察を受けられているかというと、

- ことばの発達が遅い
- 集団生活になじめない
- 病気や障害を持っているが、発達について心配している
- ダウン症のお子さんの総合的なフォローなど、受診理由は様々です。



お子さまが成長していく中で、病気や障害そのものに対する心配とともに、育児や集団参加、就学について悩まれているご家族も多くおられると思います。ご家族の抱えている問題に応じて、発達検査や在宅療養指導、地域の療育機関の紹介や保育所・学校との連絡調整など、お子さまが少しでもよりよく過ごすことのできるよう他職種で関わっています。

発達外来の受診を希望される方は、かかっておられる主治医の先生とご相談ください。

一緒にお子さんについて考えていきましょう。発達外来では、医師の診察とともに、臨床心理士や保健師、ソーシャルワーカーも一緒に対応しております。

コンタクトレンズ と 目薬

コンタクトレンズと目薬（点眼液）の関係について「コンタクトレンズの上から目薬をさしていいのかな？」と悩んでおられる声を耳にします。今回はコンタクトレンズと目薬に関するトラブルについてご紹介します。

「コンタクトレンズの上から目薬をさしていいのかな？」特別の場合を除いて、「医師の指示に従って下さい」「防腐剤を含まない人工涙液目薬以外はコンタクトレンズをはずして、点眼して下さい」と言われています。コンタクトレンズを装着中に目薬を使用したために起こる問題は、大きく分けて2つが考えられます。

1.角膜への影響

*主成分の角膜への影響

薬局で市販されている目薬は、充血を改善するための血管収縮剤（成分例：ナファゾリン、ネオスチグミン）を含むものが多く、注意が必要です。血管収縮剤はコンタクトレンズ装着中に点眼すると、角膜に影響が出てくるのではないかと予測されます。

◆ ICUとは

高度の医療機器とともに厳密なモニター監視のもと積極的な呼吸循環管理及び全身管理を必要とする患者さまをお預かりしています。

主に先天性心疾患の手術後のお子様と重症心不全のお子様など24時間通じて集中的治療がなされています。

- 病床数8床（オープンフロア6床 個室2床）
- 看護師34名（重症ケア認定看護師1名）

医師と看護師と協力し、患者様の救命を第一優先に考えると同時に、患者の権利である成長・発達・精神的なケアを大切にしています。

- 1.予定手術のお子様とご家族に手術前日に訪問を行ない、不安や心配に対しての相談にのり、継続して受け持ちをしケアを行っています。
- 2.ME機器に囲まれての緊張の高い環境を、和らげようと季節毎に壁紙を飾っています。
- 3.よく眠れるように羊と虹のスクリーンでブライバシーを守っています。
- 4.早く元気になることを願い、ひとつひとつ丁寧に対応をさせてもらいます。

コンタクトレンズ装着によって酸素が不足しがちなところにこれらの薬を点眼すると、角膜の血管が収縮し、より酸素不足となる可能性が考えられるためです。

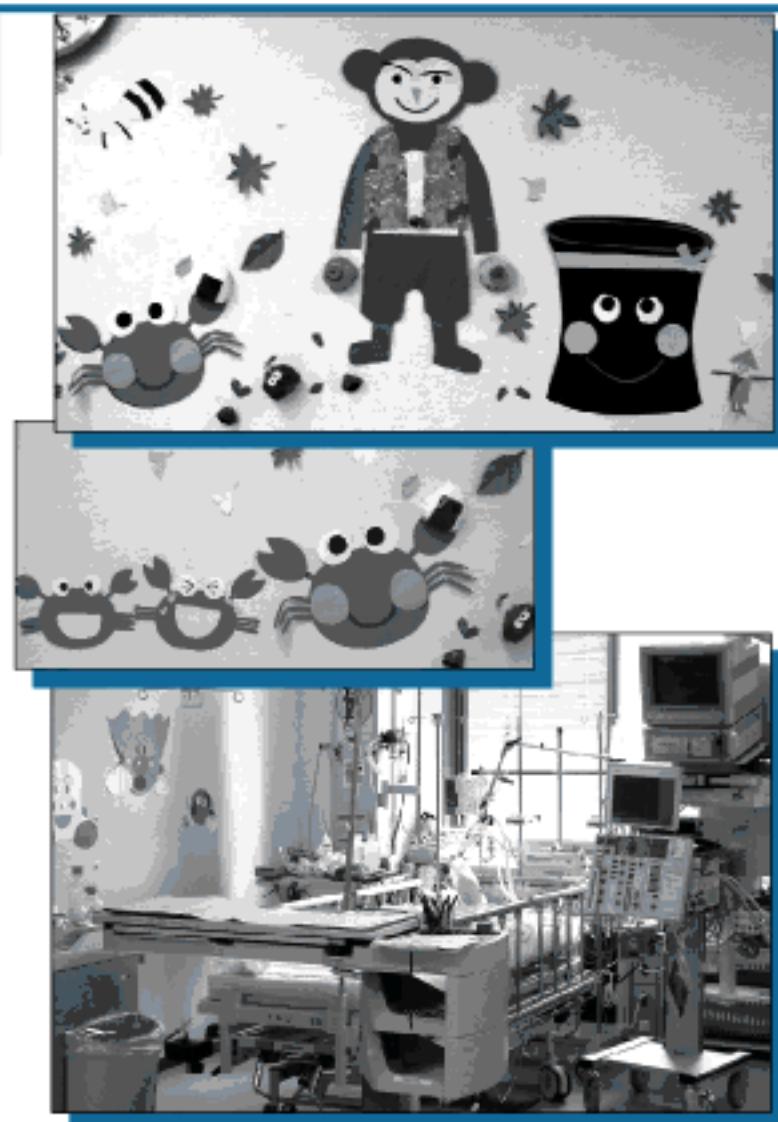
*防腐剤の角膜への影響

防腐剤としては塩化ベンザルコニウムがよく使用されますが、防腐剤の濃さと、角膜に触れている時間に依存して角膜障害を引き起こすとされています。

2.コンタクトレンズ本体への影響

コンタクトレンズ装着時には、防腐剤を含まない人工涙液目薬が薦められています。防腐剤はコンタクトレンズに吸着されやすく、場合によってはレンズが変形したり、白濁や変色する可能性があります。また、防腐剤がレンズに吸着されることにより、防腐剤が角膜へ触れる時間が長くなってしまうためです。

もし目薬を使用される場合には、防腐剤を含まない人工涙液目薬以外は、コンタクトレンズを外してから点眼し、点眼後5分以上の間隔をあけて装着することが望ましいでしょう。また、トラブルを防ぐためには、眼科医の処方によるコンタクトレンズの使用、正しい使い方やレンズケアが大切となります。定期的な検査を守ってください。



尿検査といえば「カップ」を思い浮かべる方も多いと思います。しかし、検査の目的によって尿のとり方も様々で、色々な名前がついています。

採尿の時間による分類

1) **随時尿**: 病院の外来で尿検査をするときの尿です。時間が決まっているわけではないので「随時尿」と呼んでいます。

2) **早朝尿**: 起床直後の尿です。学校検尿のとき家庭で採尿していくものがこれにあたります。もちろん、病棟で朝一番にとっているものもそうです。起床直後なので運動の影響が無く、尿も濃縮されていて検査に適しています。

採尿の方法による分類

1) **自然尿**: 普通にトイレでカップにとって頂いている尿です。採血と違い尿は何の苦痛も無く簡単にとることが出来ますが、赤ちゃんの場合は採尿バッグを使用したりして排尿を待つことになり保護者の方はご苦労をされていると思います。

2) **カテーテル尿**: カテーテルという細い管を膀胱に挿入してとった尿です。身体を動かせない方や、自然に排尿できない方などに用います。自然尿には尿道口(おしっこの出口)周辺の細胞や細菌などが少し混じることがありますが、カテーテル尿には混入することはありません。

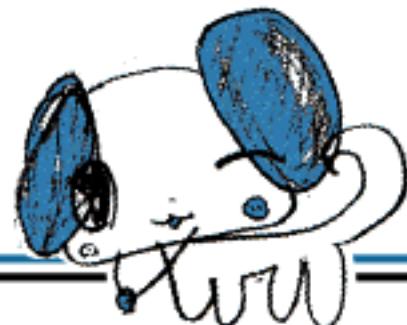
3) **ストーマ尿**: 泌尿器の病気のためにおなかに出口を作り（ストーマといいます）尿を出している方があります。腸の一部を利用していることが多いため、正常でも尿は少しねばねばしていることがあります。

蛇足として

※**混入物や偽の尿**: 尿は多くの場合カップにとって頂くために花粉やホコリなどが混入することがあります。使用前のカップを長く放置しないようお願いします。また、当院では見かけませんがお水などの偽の尿が提出された報告があります。（よほど採尿に苦心されたのでしょうか？）

おわりに

簡単に検体がとれて有用な結果が得られるのが尿検査ですが、保護者の方が採尿に苦心されることがあることや、ストマのケアをしながら勉強や遊びにがんばっている小児の患者様のことを見かけませんがお水などの偽の尿が提出された報告があります。



福祉医療の制度が変更になりました。

お住まいの市町より、保護者の方へ通知があったことと思いますが、H16年10月1日より福祉医療【乳幼児医療・母子医療・重度心身障害者医療】入院生活福祉給付金制度が廃止されました。

乳幼児医療や、母子医療、重症心身障害者医療をお持ちの方が入院時に支払った食事療養費については居住地の福祉医療の窓口で返金できていましたが、10月1日より、患者さまのご負担となります。

福祉医療をお持ちの方が入院となる際、他の医療費助成制度（小児慢性特定疾患、育成医療等）が該当する場合があります。また、該当する場合でも、居住地や、入院期間によって、どの制度を使っていくのがよいのかは異なります。

各種制度は事前申請が原則です。日数が経過し、落ち着いて申請を考えた頃には、申請できなくなっていた…というケースが多くなっています。

入院が決定し、医療費について不安がある場合は

◆制度に該当するかどうか

◆どの制度を使えばよいか

を担当医、医事課の「相談・質問コーナー」でお気軽にご質問・ご相談ください。

医事課前、「医療費助成制度コーナー」もご参考ください。



基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一緒にになって子どもたちの健やかな成長を目指します。

基本方針

- 1.子どもの権利を重視した医療の実践。
- 2.安心と信頼の医療の遂行。
- 3.専門的な高度医療の推進。
- 4.地域の医療・保健・福祉機関との連携。
- 5.親と子の健康啓発活動への貢献。
- 6.子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成。

患者権利宣言

- 1.あなたはひとりの人間として尊重され、おもいやりのある医療を受ける権利があります。
- 2.あなたとご家族は、理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報を得て、治療計画に参加する権利があります。
- 3.あなたとご家族は、医療について同意や拒否の権利があります。
- 4.あなたとご家族のプライバシーは守られます。
 - ◆みなさまと私たち職員がお互いを尊重しあい、良質な医療を実現していくよう次のことにご協力ください。
 - 病気について理解し、安心して医療を受けられるよう、今までの経過・病状の変化や問題について詳しく正確にお知らせください。
 - 病院のきまりや約束ごとをお守りください。

編集後記

秋の気配が深まり、今年ももうすぐ終わりかなあ・・と感慨深くなってしまう今日この頃です。さて、げんき力エルも第7号となり、内容も充実してきたんじゃないか?と編集委員一同自負しています。今回は8月26日にこども病院に来神されたパッチ・アダムスさんの特集です。短い時間でしたが、こども達は大喜び!夢と希望をこども達に与えてくれたパッチさん!

ありがとうございました!皆様も、特集を読んでいただき、パッチさんとの楽しい時を共有してください。

次回は冬号をお楽しみに!村田さんよろしくお願ひします。

兵庫県立こども病院広報誌編集委員会
大橋正伸 齋藤富美代 正井秀幸 箕浦洋子
村田和歌子 行祥子

本誌に関するご感想、ご希望、ご質問はこちらまで。

兵庫県立こども病院

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1
TEL078-732-6961 FAX078-735-0910

URL:<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>

E-MAIL:info_kch@hp.pref.hyogo.jp